

大正七年

保存年限	目	類	係
永年	雜	衛	衛
	件	生	生

鬼脇村役場

I-1 ↓ 二 告諭 中 老 年 (流行性感冒注意)

I-2 ↓ 二 一 四 腸 室 狀 斯 及 以 下 三 予 防 三 予 免 休

二 一 四 流 行 性 感 冒 三 予 防 一 休

二 二 一 衛 生 組 合 二 予 三 休

二 二 一 才 二 期 十 五 山 患 者 視 察 成 績 報 告

二 二 一 左 二 復 原 事

二 三 一 樽 染 病 患 者 轉 歸 報 告 (長 四 五 治 市)

二 二 一 村 区 二 陶 瓦 件

65 64 63 62 61 60 57 58 57 56 55

種類	保存	年月	冊数

施行完了

大正七年十一月十二日 判決

度務係



告諭 蒞蒞 雅

今春内地各府県に流行せる將種、感冒、夏期に至り
 一時病勢衰へたりしを、秋、初秋、候に入り、復々各
 府県に発生し、其最盛なる地方に在り、其先、諸
 校業に中止せしむるに、亦一面海外より、情報に依り、南

亞聯邦、北東各地、地方に於て「スパン」ニシテ、インフルエツト板
 スル悪性感冒、為ニ慘禍ヲ蒙リ、ソノ種々ニテ、文筆將種、寒暑
 カ其異的ニ流行シ、ソノアルハ、事々ニシテ、国民保健上憂
 慮、堪へん、次、蒞蒞、依り、此際、国民タルモノ、自己保健上極
 輕微ナル寒暑、ト、自衛、カセニ、直ニ、医師、診察、新
 度々、の、自衛、後防、ニ、カ、ソ、ナル、ヤシ

辛卯日

鬼脇村長北條慶三郎

流行性感胃予防ニ関スル注意

南亞聯邦、北米其他ノ地方ニ於テ、石バニツシニ、インフルエンザト稱スル惡世感
 胃大流行シ、其ノ勢、激烈ニシテ、南亞聯邦、如キハ、死者、日數、千ヲ算シ、爲
 ニ都市、荒廢スル、慘禍ヲ蒙リタルノ聞有之、我國ニ於テモ、本春内地ニ
 流行セル特種ノ感冒ハ、夏季ニ至リテ、病勢衰ヘタリシモ、更ニ初秋ノ候
 ヲリ復、各府果ニ散發スルニ迄ヒ、其ノ病勢、熾烈ナル地方ニ在リテハ、竟ニ
 諸學校ノ授業ヲモ中止セル向アリ、本道ニ於テモ、同下各地ニ大流行ヲ
 未シ現ニ本村チ、如キモ、非常ノ勢カラ以テ、蔓延シツ、アリ、各自ノ保
 健上憂慮ニ堪ヘザル、次オニシテ、而モ本病ハ、猛烈ナル傳染カヲ有テ、
 疾病ニシテ、一日乃至、三日ノ潜伏期、右突然、惡寒、又ハ戰慄ヲ以テ、發熱
 シ、三乃至四度ニ達ス、頭痛、背痛、喉痛、及四肢麻痺アリ、大ナル疲
 勞及食欲減退、又鼻、咽喉、頭、頭、及氣管支ノ加合兒ヲ發シ、或ハ胃腸

ノ傳染ヲ伴フニ多シ、而シテ、數日、下痢、嘔吐、恢復ニ赴クヘシト、虽時々
 肺炎ヲ併發シ、或ハ心膈麻痺ヲ以テ、死亡スルモノ、尠ナカラス、本病ノ病原
 菌ハ、患者ノ喀痰、鼻汁等ニ存在シ、之ヲ傳播ハ、主トシテ、談話、咳嗽
 嘔嚏等ノ際、泡沫ニ混シテ、飛散シ、健康者ノ鼻、口、吸ニ入セザルニ、固ル
 ト、虽モ又患者ノ交通、分立者及患者ノ復使用シタル物、品ニヨリテ、傳播セルコ
 トアリ、故ニ此際左記予防ニ關スル注意ヲ、熟讀シ、以テ其慘禍ヲ蒙ラザル
 様ニシテ、ラシ

大正七年十一月 鬼取村 長北 藤 濱 三 郎

記

- 一、被服、寢具等、着用ノ際、体温ノ調節、其ノ當ヲ失セザル様注意
- 二、スルハ、勿論、被服、寢具、數類ハ、時々日光ニ曝スコト
- 三、成ルヘク、鼻毛ヲ剃除セザルコト
- 四、談話、嘔嚏、咳嗽等ノ際、シ、泡沫ヲ飛散セシメザル様努力スコト
- 五、患者及其ノ接觸アルモノニ接近セザルコト
- 六、發熱其他、自體ニ遠和アルモノハ、速ニ医療ヲ受ケルコト
- 七、本病患者ハ、方メテ、別室ニ隔離スルコト
- 八、患者ノ家族及同居者等ハ、含嗽藥ヲ以テ、頻回、含嗽ヲ行フコト
- 九、患者ノ鼻汁、唾液ハ、勿論、之レガ汚染シタル物件ハ、消毒ヲ爲スヘキコト

以上

電信約字表

(大正七年十一月六日宗教第七八号)
 (通牒ニヨリ使用スルモノ)

イ 醫師ニ於テ適當ノ處置ヲ施シ
 ホ 發生シタルニ
 ト ニヨリ處置セリ
 リ 陽室扶助
 ル 流行性感胃
 カ 罹病者
 タ 學校医ノ甲一告ニヨリ
 ソ 家族中ニ
 ネ 豫防方法ヲ講ス
 ラ ノ疑アリタルニ
 ヲ 蔓延ノ兆候ナレ
 ク 傳染ノ虞アリ
 マ 傳染性、モノニアラサルヲ以テ
 フ 尋常科第(一)學年児童
 工 實業補習學校生徒
 ア 授業差支アリ
 キ 授業差支ナレ
 メ 文部省令第百二十号第(一)條
 シ 全校ヲ閉鎖ス
 モ 臨時休業ス
 ロ 約(一)割ニ當ル
 ホ 疑ハレキ缺席者

イ 發生シタルヲ以テ
 ハ パラチフス
 チ 當該學年ノ閉鎖ス
 又 實布埤利亞
 ヲ 流行性耳下腺炎
 ヲ 感染シタルヲ以テ
 レ 學校医ノ協議ノ上
 ツ 隔離ノ上療養セシム
 ナ ノ疑アリタルヲ以テ
 ム 蔓延ノ兆候アリ
 牛 他傳染ノ虞ナキヲ以テ
 ヤ 規程ノ消毒方法ヲ施行ス
 ケ 夏慶處スル程度ニテラス
 コ 高等科第(一)學年児童
 テ 出席停止ヲ命ス
 サ 授業開始ス
 ニ 百日咳
 ヲ 全部ニ亘リ健康診断ヲ施行ス
 ヒ 一部ヲ閉鎖ス
 七 児童通學區域ニ於テ
 八 全校児童總數ニ對シ
 九 全校生徒總數ニ對シ

大正七年

十一月 廿五日 朔

教育、五、二〇

小學校授業休止供電報

十一月十二日 申報 致シタル 小學校生徒 感冒患者
 利尻校二百名以上 同校職員中五名、患者發生

尚漸次 蔓延、昨日候アリ 本日ヨリ 向一週間 休業
 休校ス 取敢ヘス 申報

名件	名氏	村長	主任	委員	信發	議合	校合	淨書
								
流行性感冒ニ于スル件		大正九年一月廿七	大正九年一月廿七	大正九年一月廿七	大正九年一月廿七	大正九年一月廿七	大正九年一月廿七	大正九年一月廿七
各村医		鬼脇村長						

予防上参考ニ為見ニ度候ニ付 左記事項ニ付 御田
 答有ニ度及 照會候也

記

- 一、最近ニ於テハ流行性感冒及疑似患者數
- 二、今後増生見込 兼並 意見見

鬼方二一〇号 国答

一、最近ニ於テハ流行性感冒及疑似患者數ナシ

二、今午發生ノ見トアリ 如所トナシバ 昨船入港 際ニ陸
 表中原菊着ナシト由是ニ難ヤシハナリ

尚志見トシテハ 利人全島船船入港ニ陸着
 健康診出ヲ行ク 患者无ニ疑似者ヲ 一星期間
 隔離セバ 或ハ安心ナラシ

大正九年一月廿七日

村医 堀江 东 彦

日下警察及衛生組合下協議中ニ據此決定可也
大正九年一月十四日
尾村支那也 塩川 奎 造

流行性感冒豫防方一件

流行性感冒豫防方ニ関シテハ夫ニ配慮ノ事ト存イ處
目下在道各地ニ於テ同病發症札幌区ノ如クハ十二月申
ケル患者略七千人ニ達シ死者拾餘名ニ及ビ漸次猖獗北
有之ニ趣キニ就テハ各地共流行ヲ極ルノ危虞有之ニ
既ニ通牒シ置キタル豫防方法ノ外更ニ左記事項實行
相成ニ候也

記

一 一般住民ニ對シテ豫防方法ヲ周知セラルルニ勿論ナルモ特ニ舍社工場其
他多數集會スル場所ニ於テ起臥スルモノニ對シテハ一層豫防

方法ヲ督勵シ且ツ予防疫ノ接種ヲ勸奨スルコト

二 前記予防疫接種ニ關シテ注意ハ賜テ予防疫接種

ト同様ニシテ其注射量及方法等ハ該予防疫容器ニ添付シテ

三 予防疫販賣所ハ東京並ニ白金三光町北區研究所ニテ

價格ハコシラム入一瓶壹圓コシラム入二瓶壹圓八拾五トス實際

之ヲ使用スルニ藥品實費ハ大人一人ニ付略金拾五圓トス

町村ハ町村医病院又ハ開業医師ニ謀リ實費ヲ以テ廣

四 家族三人ノ患者發症スルトモ他ノ健康者容易ニ傳染ス

ル上虞アルヲ以テ患者ノ狀況其他ニ依リ可成患者ノ治療

傳染病院又ハ同隣病舎ヲ利用スルコト

五 既ニ通牒シ置キタル如ク呼吸器ヲ使用セラルル時呼吸器ノ

購入困難場合ハコシラム入二瓶壹圓トス

大正九年一月廿一日

谷町村長殿

尾崎秀次卿と徳川奎造

流行性感胃予防ニ関スル件

流行性感胃予防ニ関スル件
 流行性感胃予防ニ関シテハ数次及通牒置キ付来、配慮ノ事ト存案モ府県中ニ流行ヲ極メワケル處ニ有之如ク
 本道ニ在リテハ亦ク流行状態ト云フ程ニアラズモ各地方ニ登
 生シマリ之ヲ昨冬以來ノ流行状態ニ徴スルニ本道ハ府県
 ニ於テ大流行ヲ極メタル後ニ於テ福徳ヲ日企ヨリ然モ昨
 ヲ十ノ月ヨリ昨冬ヨリ日東道ノ罹病者實ニ四九百
 百七十九人ニ達シ死亡者又八千五百〇七人、多キニ達シ各程法
 宜伝染病死亡者、十倍以上ニ及リ、惨状ヲ極メタリ故ニ今
 ニ於テ一般住民ニ対シテ予防上ノ注意ヲ喚起シ一面相當予防
 施設ヲ得ルニテラカレハ再々昨冬ノ如キ悲惨事ヲ見ル
 或ニ難測洵ニ憂慮ニ堪ハサル故ニ付、曩ニ配付セル予防
 注意書記裁事項ノ実行ヲ促スト同時ニ流行ヲ見ル
 ニ至リハ所村医ハ勿論南業医ニ協定シテ医務上ノ便
 宜村落ノ患者ニ対シ巡回診療ヲ施ス様ヲ其ノ方途ヲ計画
 シ置キ予防乃診療上段一感キリ期セラレハク候也

大正九年二月十九日

各所村長殿

尾崎秀次卿

マスク販賣所ノ件

本件ニ于テ少額已預聽所、西三丁目長倉春造ヨ
 リ別紙ノ通り申出ニ付、考テニ送付ス也

流行性感冒予防施設ニテハ其効力ニシテ冷ク時ニテ
 一、浴巾ヲ可有之其巾一葉トシテ口覆(マスク)ヲ一般ニ普及セサル
 ヲカサレ義ト奉存ハシニ付私ニテ製衣作ニ從事致シ居リ云テ
 後志支ニシテ初大他ニ面、各小支ヲ下、床下、床ヲ被リ居リ
 以テ就テハ中尚不良高人、暴利ヲ防クハ為席存内、各中支
 我ニ直接ニ記特價ヲ提供可仕其下、年相者時便
 宜ヲ共ニシ、比段内、被、中、上、下

記

一、マスク黒朱子覆付ノ合

一箇十五円(市價ニテ三十円)

一、金具ノミ

一個七円

追テ各小支校ヲ中、以テ校印ヲ捺カレテ、格致ニ付申
 込、改身直接可仕尤モ送料ハ実費申込、各小支校
 相買ハ買相可致也

七三

九三

九三

衛生組合各役員

感心曰月予防液注射ニ于スル件

目下各地ヨリ獲夫入込ニ際シ流行性感胃患者多數ヲ見ル
 ニ付此際予防方法トシテ各部落ニ所定場所ヲ定メ実費ヲ以
 テ予防液注射可致(昨日衛生組合会ニ於テ協議致候ニ付貴部由各
 小支希望者取調、並ニ場所選定、上、医師出張、初者モ有之候
 奈ニ急電電話又ハ書面ヲ以テ、由、報有之度此段及
 謝、極、候也

追テ注射料ハ一人二回ニテ効力足モ、シテ、実費

上、金五十円ニ有之候奉、知相成度申添候

利尻郡電報所
 電話
 電報

大正7年「獨泊小學校沿革記」

廿八日 本日午後校長及生徒長吉田家齋儀ニ

會葬ス

廿一日 午前十時天長節祝日拜賀式與テ行 式後

運動場ニ於テ赤十字社愛國婦人會

總會ヲ

本校功勞者六名表彰式與テ行サル

十一月一日 第一二教室ノ一ノ格付ヲナス

十二月 高等一年 全學年全部健康診断ヲナス

午後第四教室ヲ消毒セリ

十八日 校長雄志志内小學校參觀ク出張

廿七日 寒胃ニ罹リレ兒童九十五名ヲ算ス 細川

十一月十日 第三學期始業式ヲ行

十一月十日 紀元節拜賀式並ニ憲法發布記念祝賀

村医診察ヲ受

十月二日 寒胃ノ為ニ缺席セル兒童六十名出席兒童中

罹病者百一十名ナリ 依ニ三日ヨリ九日マテ

一週間臨時休業ス

十日 寒胃ノ為ニ缺席セル者百六名多數ニ及ヒ

且ニ校下一般合病ニ罹リシモノ多シ 要ニ性寒胃

ノ為ニ死亡セルモノ二三ニ止マラズ 依テ尚一週間

十一月二日 休業ス

廿五日 第二學期終業式舉行

十一月十日 第三學期始業式ヲ行

十一月十日 紀元節拜賀式並ニ憲法發布記念祝賀

北海道新聞

夕刊

2020年

8月5日

水曜日

発行所

北海道新聞社

〒060-8711

札幌市中央区大通西3-6

電話 011-221-2111

www.hokkaido-np.co.jp

読者センター

011-210-5888

(平日10時~16時)

ご購入申し込み

0120-464-104

コロナで激変 「日常」後世に

【浦幌】十勝管内浦幌町立博物館(同町核町)が新型コロナウイルスの影響で激変した日常を後世に伝える品々を集めた企画展「『コロナな世相』を語り継ぐ」を開催している。1日からは関連として手作りマスクも展示している。新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)を象徴する身近な品々を保存し、記憶や教訓を将来に伝える狙いだ。(佐藤真由)



「50年、100年後に今の時代を振り返るための資料を集めたい」と話す学芸員の持田さん

マスク、チラシ…浦幌町博物館が資料収集 企画展開催 差別の記録も



浦幌町立博物館に寄せられた手作りマスク
途中止になった今春の選抜高校野球大会の記念タオル

「生活に大きな影響を与えた時代の資料を丹念に集め、記録することが博物館の役割」として学芸員の持田さん(47)が企画した。約100年前のスペイン風邪が流行した時代の生活への影響を伝える資料がほとんど残っていない。今回のコロナ禍も時間がたつと記憶が薄れる」と危機感を感じ、7月末に収集を開始。5月に公開を始め、展示物を入れ替えて来春まで続ける予定。



1日に始まった企画展「コロナな時代のマスク美術展」では、町内外から寄せられた約60点を9月27日まで展示する。疫病退散に御利益があるとされる妖怪「アマビエ」の刺しゅうを施したのもや、アクリルで作った表情が見えるマスクなど趣向に富んでおり、持田さんは「マスクは今や生活必需品で新しい文化。材

料が足りない中で工夫する人々の強さも感じたい」と話す。マスクのほかにも、これまで提供された資料は約200点。密集を避けるためタイムセール自粛を伝える浦幌町内のスーパーのチラシは経済活動の制約の一例だ。戦後初めて中止となった今春の選抜高校野球大会に出場予定だった十勝管内の高校の記念タオルは、大規模イベントが軒並み中止された2020年を物語る。

感染拡大地域からの来訪を拒む「自粛警察」の動きなどに備え、車などに張って地元往住をアピールするステッカーなどは感染症が生んだ差別について考えさせられる。

来場者からは「物々しい雰囲気、戦時中のような歴史が繰り返すことを実感した」と感想が寄せられたという。持田さんは「時代の空気は美化されたり、誇張される危険性がある。客観的に歴史を振り返るため、一つ一つ物を残すことが重要。博物館には差別など社会の負の側面も後世に伝えていく責任がある」と話す。資料収集は継続している。入館無料。午前10時~午後5時。同博物館8015・576・2009。

「宿題」など貴重
布谷知夫・全日本博物館学会会長の話 博物館には現在の資料を残し、未来について考える場という役割がある。コロナの時代にあるゆる年代、職種の人などがうって暮らしたかが分かる資料など、ほうっておいたら絶対残らないものを残してほしい。アパノマスクの実物や3密を避けるよう呼びかける張り紙、学校が休校となった子どもたちに出た宿題など教育関係の資料も貴重だ。

第七表 累年呼吸器系疾患死亡比較 (自明治四十二年) (至大正七一年)

病類	明治四十二年	同十三年	同十四年	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年
流行性感冒	二、八三三	三、六四一	三、四四三	三、三三三	二、二六〇	二、二六一	一、八九〇	四、四三三	二、五九〇	六、八八四
肺結核	〇・七〇	〇・五〇	〇・四九	〇・四〇	〇・四〇	〇・四〇	〇・四〇	〇・四〇	〇・四〇	〇・四〇
急性気管支炎	八、六三三	八、六三三	八、六三三	八、六三三	八、六三三	八、六三三	八、六三三	八、六三三	八、六三三	八、六三三
慢性気管支炎	一、六一	一、六一	一、六一	一、六一	一、六一	一、六一	一、六一	一、六一	一、六一	一、六一
肺炎及 気管支肺炎	三、七九四	三、七九四	三、七九四	三、七九四	三、七九四	三、七九四	三、七九四	三、七九四	三、七九四	三、七九四
其他の呼吸器 の疾患	〇・五〇	〇・五〇	〇・五〇	〇・五〇	〇・五〇	〇・五〇	〇・五〇	〇・五〇	〇・五〇	〇・五〇
計	二四、五八〇	二四、五八〇	二四、五八〇	二四、五八〇	二四、五八〇	二四、五八〇	二四、五八〇	二四、五八〇	二四、五八〇	二四、五八〇

統計年鑑に拠る。

流行性感冒の予防宣伝に対しては曩に予防心得五万部を各府県に配附したることは既述の如くなるも尚之が要旨を普く徹底せしむる為簡単なる標語を印刷し汎く配布して一見予防の綱目を会得せしむるは効果尠からざるべきを思ひ一月十九日左の標語小札四十八万枚を各府県に配布せり。

流行 感 予 防
(局生衛省務内)

- 一、近寄るな 咳する人に
- 二、鼻口を覆へ 他の為にも 身の為にも
- 三、予防注射を 転ばぬ先に
- 四、含嗽せよ 朝な夕なに

尚絵画による予防宣伝方法を計画し左に掲げたる五種の予防「ポスター」を各府県に配布せんが為各五万枚宛印刷に附せり、然れども是等五種の予防「ポスター」配布に關しては経費の都合もあり二月七日(第一種及第二種配布後)衛生局長より左の如く通牒せり。

大正九年二月七日 衛生局長官宛

衛生局長



